



二輪草だより

平成27年10月号
発行:二輪草センター

センターの活動予定 ◆11月16日(月) 医学生・研修医・女性医師の集い開催
◆11月25日(水) 看護学生と看護師の語るタベ開催
◆11月下旬 二輪草プラン推進委員会議 二輪草だより11月号発行

医学生・研修医・女性医師の集い開催のお知らせ 『研修医生活ってどんなもの?』

～研修医・そしてその後の女性医師としてのライフスタイルを考える～

日時:平成27年11月16日(月) 18:30～20:00

場所:臨床講義棟 臨床第3講義室

対象:医学生・研修医・医師

講演

☆「子育てしながら研修医」

旭川厚生病院 初期研修医 林 なつき 先生

☆「これまでのおはなし-医学生から医師、そして母になるまで-」

旭川医科大学 後期研修医 高取 清香 先生

☆「これがわたしの生きるみち」

市立旭川病院 後期研修医 加藤 亜佳音 先生

☆「総合医をめざして」

北星ファミリークリニック 後期研修医 三島 千明 先生

☆「旭川赤十字病院での後期研修を終えて

- 研修生活から学んだことを中心に -

旭川赤十字病院 消化器内科 林 秀美 先生

◎参加無料。軽食を用意しておりますので、お気軽にご参加下さい。

◎参加ご希望の方は、二輪草センターまでご連絡下さい。

託児ご希望の方は、申込みの際にお申し出ください。(11月12日締切)

病児一時預かり室、バックアップナース、病児・病後児保育室、カウンセリング相談 【9月20日～10月19日までの利用状況】

利用種別	依頼回数	利用回数
病児一時預かり室	0回	0回
バックアップナース	8回	稼働回数 8回
病児・病後児保育室	8回	利用回数 8回
カウンセリング相談		利用回数 5回

* 病児一時預り室、病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます

【お問い合わせ先】 旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)

〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1

TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX 0166-69-3249

開設時間8時30分～17時15分 E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp

ホームページ <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>



看護学生と看護師の語るタベ開催のお知らせ

日時:平成27年11月25日(水) 17:45～18:30

場所:臨床講義棟 臨床第3講義室

対象:看護学生・看護職員

チャンスをつかもう!!～あなたの夢は ほらそこに～

* 10階西NS 内山 寛美 認知症看護認定看護師

* 5階西NS 野中 雅人 がん放射線療法看護認定看護師

* 6階西NS 中村 智美 看護師長

認定看護師・看護管理者として活躍している看護師の体験談を開き、自己のキャリアアップや仕事と学業の両立、ワークライフバランスの工夫について考えよう。

◎お誘い合わせの上、ご自由にご参加下さい。

◎託児ご希望の方は、事前予約ですので、

二輪草センターまでご連絡下さい。(11月19日締切)



第6回イブニングセミナー終了報告

二輪草センター助教 菅野 恭子

平成27年8月28日に第6回イブニングセミナーが開催されました。今年度はくるみ認定取得記念として「モンスターよ、どうぞいらっしゃい!!! “システミック”に見立てて対応する術を学ぶ」のタイトルで神奈川県立保健福祉大学准教授である生田倫子先生を再度お招きしご講演頂きました。今年の参加者は57名でした。



まずはじめに、二輪草センター助教の菅野恭子先生から職場のストレス・トラブルに関するアンケートの集計結果を発表がありました。医師118名、看護師374名から回答がありました。昨年同様、約9割の方が職場でのストレスをかかえており、そのうちの3～4割が人間関係に最もストレスを感じているという結果でした。男女別にみますと医師の場合女性の方が人間関係にストレスを感じている割合が多く、一方看護師では男性の方が人間関係にストレスを感じている割合が多いという結果でした。モンスターペーシェントを診察・担当したことがあるかの問いに対し医師の69%、看護師の54%にあるとしており、両者共に上司に相談している解答が最も多かったです。医師は医療支援課に相談している割合が多く、看護師の7%は自分で解決していると解答していました。

次に生田倫子先生によりモンスターペーシェント クレームに対する上手な対応術についてご講演頂きました。モンスターペーシェントに対応する際は相手にひるまず、相手の気持ちを良く理解し(ているように見えて)、落ち着かせて、何を話して良いか困ることがないようにし、いざというとき相手の目を見て、ぐっと近寄って心に響く落とし文句を言うという相手を恋人にみたてて対応するというユニークなアプローチ法についての解説がありました。前回は紹介された有効な技法の1つであるコンプリメント技法ですが相手の可能性やいいところに着目するもので、相手の鎮静効果やオープンマインド、信頼する気持ちが生まれ説得できる可能性が高くなるというものです。今回は間接コンプリメントの有用性について具体例を挙げて解説して頂きました。難しい内容をわかりやすくお話しして頂きましたので今後の人間関係のトラブルに大いに役に立つのではないかと思います。



最後になりましたが、お忙しい中アンケートにお答え頂きました先生方、看護師の皆様はこの場を借りてお礼を申し上げます。皆様、本当にありがとうございました。